

農業関連学校へのスマート農業支援事業

～ モバイル牛温恵(ぎゅうおんけい)導入しました ～

今回、牛温恵を使用した牛「やよい」は7月31日に分娩予定

オスが生まれたら → 令和7年1月の和牛甲子園 出品予定

(肥育牛の全国大会 牛肉の品質を競う高校生の全国大会)

メスが生まれたら → 令和5年10月の岐阜県畜産共進会 出品予定

(繁殖牛の県大会 牛の体型審査をする大会。牛の美少女コンテストのようなもの)

① センサーの動作確認



お湯の温度がスマホに通知

② 雌の体内に入れる



雌の体内に挿入する

【 牛の体温の変化を分析、分娩兆候がメールで連絡 】

牛温恵を導入して期待できること・感想

離れた場所から牛を監視、分娩前の巡回する労力を削減できます。「いつ分娩されるのだろうか…。分娩兆候がきたらどうしよう」と不安に思うことがなくなるのが期待されます。人の目で牛を観察することも大切に、子牛が生まれたら頑張って育てていきます。

